



2026年5月13日

各位

会社名 阿波製紙株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 三木 康弘
(コード番号: 3896 東証スタンダード)
問合せ先 取締役上席執行役員 岡澤 智
CFO
(TEL. 088-631-8101)

特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し
並びに通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期決算において、特別損失（減損損失、投資事業組合評価損）の計上及び繰延税金資産の取り崩しを行いましたのでお知らせいたします。また、2026年4月13日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 固定資産に係る減損損失

当社の主に自動車関連資材製造に係る固定資産（生産設備等）について、事業環境の変化による受注減少に伴う収益性の低下などを踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、徳島工場及び小松島工場において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損の兆候が認められました。徳島工場及び小松島工場が保有する固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、本第4四半期連結会計期間において、88百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(2) 投資事業組合評価損

投資事業組合への出資について、貸借対照表日の翌日から当該組合の存続期限までの期間が1年未満となったことに伴い、業種別委員会実務指針第38号「投資事業有限責任組合における会計上及び監査上の取扱い」を踏まえ、組合財産の処分可能価額及びその回収可能性を慎重に検討いたしました。その結果、当社の出資持分について実質価額の著しい低下があるため、本第4四半期連結会計期間において、64百万円を投資事業組合評価損として特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の一部取り崩しについて

当社は、近年の業績動向等を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2026年3月期末において繰延税金資産の一部取り崩し、本第4四半期連結会計期間において法人税等調整額71百万円を計上いたしました。

3. 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,400	40	△120	660	66.03
実績値（B）	18,494	58	△95	753	75.41
増減額（B－A）	94	18	25	93	
増減率（％）	0.5	46.8	－	14.2	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	17,124	432	279	35	3.59

差異の理由

2026年3月期の業績につきましては、棚卸資産の評価に係る低価法適用額が前回予想時の想定を下回ったこと等により、営業利益が前回予想を上回る結果となりました。

また、特別損失の計上額が前回予想時の見込みを上回ったものの、繰延税金資産の取り崩し額が予想を下回ったこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を上回る結果となりました。

なお、特別損失及び法人税等調整額につきましては、上記「1. 特別損失の計上について」及び「2. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載のとおりです。

以 上